

1

次の問題に答えましょう。

(1) ( ) の中の数の公倍数を、小さい順に2つ求めましょう。

① (3, 4)

12, 24

3の倍数...3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24

4の倍数...4, 8, 12, 16, 20, 24

② (6, 18)

18, 36

6の倍数...6, 12, 18, 24, 30, 36

18の倍数...18, 36

公倍数のうちで、いちばん小さい数が最小公倍数です。

(2) ( ) の中の数の最小公倍数を求めましょう。

① (2, 6, 9)

18

2の倍数...2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18

6の倍数...6, 12, 18

9の倍数...9, 18

② (4, 9, 12)

36

4の倍数...4, 8, 12, 16, 20, 24, 28, 32, 36

9の倍数...9, 18, 27, 36

12の倍数...12, 24, 36

(3) ( ) の中の数の公約数をすべて書きましょう。

(18, 24)

1, 2, 3, 6

18の約数...1, 2, 3, 6, 9, 18

24の約数...1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 24

公約数のうちで、いちばん大きい数が最大公約数です。

それぞれの数の共通な約数が公約数です。

(4) ( ) の中の数の最大公約数を求めましょう。

① (16, 24)

8

16の約数...1, 2, 4, 8, 16

24の約数...1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 24

② (32, 80)

16

32の約数...1, 2, 4, 8, 16, 32

80の約数...1, 2, 4, 5, 8, 10, 16, 20, 40, 80

2

次の問題に答えましょう。

分母と分子を、それらの公約数でわって、分母の小さい分数にすることを、約分するといいます。

(1) 約分をしましょう。

①  $\frac{5}{15}$

$\frac{1}{3}$

分母と分子を公約数の5でわります。

②  $\frac{8}{32}$

$\frac{1}{4}$

分母と分子を公約数の8でわります。

③  $\frac{12}{42}$

$\frac{2}{7}$

分母と分子を公約数の6でわります。

④  $\frac{15}{60}$

$\frac{1}{4}$

分母と分子を公約数の15でわります。

(2) 通分をしましょう。

①  $\left[ \frac{1}{3}, \frac{2}{5} \right]$

3と5の最小公倍数は、15になるので、15を共通な分母として通分します。

$\frac{5}{15}, \frac{6}{15}$

②  $\left[ \frac{5}{4}, \frac{7}{18} \right]$

4と18の最小公倍数は、36になるので、36を共通な分母として通分します。

$\frac{45}{36}, \frac{14}{36}$

※次のページにも、問題があります。

(3) 計算をしましょう。

①  $\frac{2}{3} + \frac{1}{4}$

$$\frac{2}{3} + \frac{1}{4} = \frac{8}{12} + \frac{3}{12} = \frac{11}{12}$$

分母がちがう分数のたし算は、通分して同じ分母の分数になおし、単位分数の幾つ分として考え計算します。

$$\frac{11}{12}$$

②  $1\frac{1}{5} + \frac{4}{15}$

$$1\frac{1}{5} + \frac{4}{15} = 1\frac{3}{15} + \frac{4}{15} = 1\frac{7}{15}$$

答えが約分できるときは、約分をします。

$$1\frac{7}{15} \left[ \frac{2}{15} \right]$$

③  $\frac{5}{4} - \frac{5}{6}$

$$\frac{5}{4} - \frac{5}{6} = \frac{15}{12} - \frac{10}{12} = \frac{5}{12}$$

$$\frac{5}{12}$$

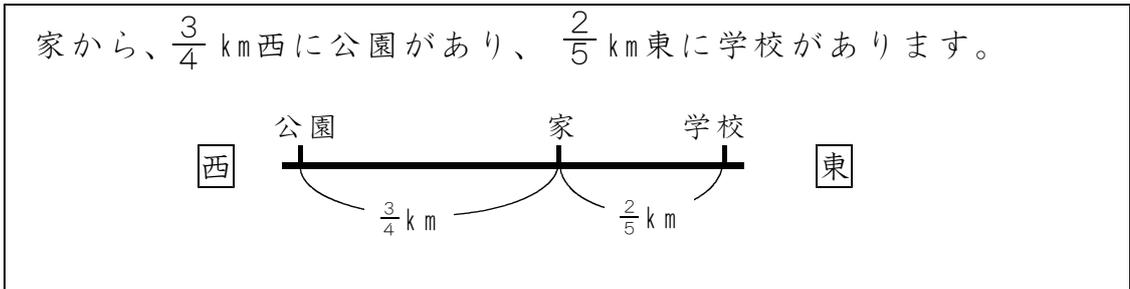
④  $\frac{11}{10} - \frac{14}{25}$

$$\frac{11}{10} - \frac{14}{25} = \frac{55}{50} - \frac{28}{50} = \frac{27}{50}$$

$$\frac{27}{50}$$

3

次の問題に答えましょう。



(1) 公園から学校までは、何kmありますか。

$$\begin{aligned} \frac{3}{4} + \frac{2}{5} &= \frac{15}{20} + \frac{8}{20} \\ &= \frac{23}{20} \left[ 1\frac{3}{20} \right] \end{aligned}$$

式  $\frac{3}{4} + \frac{2}{5}$

答え  $\frac{23}{20}$  km  $\left[ 1\frac{3}{20}$  km  $\right]$

(2) 家から公園までのきょりと家から学校までのきょりでは、どちらがどれだけ長いですか。

$$\begin{aligned} \frac{3}{4} - \frac{2}{5} &= \frac{15}{20} - \frac{8}{20} \\ &= \frac{7}{20} \end{aligned}$$

まず、通分して、どちらが大きいか確かめてから、計算しましょう。

答え 家から公園までのきょりの方が  $\frac{7}{20}$  km 長い。